

Ⅱ 年間指導計画

本校のめざす学校像	(1) 自信と誇りが持てる学校 (2) 温かい人間関係で結ばれた学校 (3) 保護者、地域と共にある学校
-----------	--

学校教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、未来を拓く生徒の育成 一豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる一
--------	---

育てたい生徒像	(1) 自らを大切に育てる生徒 (2) 意欲を持って粘り強く学ぶ生徒 (3) 部活動、学校行事に燃える生徒 (4) 自他を大切にする思いやりのある生徒 (5) 美しいものに感動し、一生懸命な姿に感動する生徒
---------	---

いじめ問題対策委員会：校長 教頭 生徒指導主事 各学年主任 養護教諭
＊状況に応じて関係職員等も含めて編成

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	いじめ問題対策委員会 ・指導方針の確認 職 ※1	いじめ実態把握調査 ※5 → 道徳・特別活動計画に反映 (スーパージョーエーション)	生活実態アンケート ※2 個人面談・個人状況把握 ※3	1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。 3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。 4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。
5月	保護者向け啓発 (ネットいじめを含む) PTA総会、保護 ※6	学級・学年づくり 人間関係づくり ※4 カウンセリングマインド研修	家庭訪問	危機管理の心構え「さしすせそ」 さ:最悪を想定する し:慎重に対処する す:素早く対処する せ:誠意を持って対処する
6月	いじめの実態把握のためのアンケート調査	(修学旅行) (林間学舎) (トライやるウィーク)		
7月	緊急対応会議の適時開催(通)	情報教育講演会 全校一斉学習 ※8	三者面談 個別面談 個人状況把握	
8月			※11	
9月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有 職員	学級・学年づくり 人間関係づくり ※10 カウンセリングマインド研修	生活実態アンケート 個人面談・個人状況把握	※1 職員会議 いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。 ※2 生活実態(いじめ)アンケート 年度当初、大型連休明け、各学期始めに、休み中の状況把握と同時にいじめの実態把握のアンケートを実施する。 ※3 個人面談／個人状況把握 年度当初、各考査後等の区切りごとに個人面談を実施し、生活状況把握するとともに、クラス内の生徒状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。 ※4 カウンセリングマインド研修 ロールプレイ等、研修の実施の仕方を工夫するなど効果的な研修を実施する。 ※5 いじめ実態把握調査 生徒、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、その調査状況を元に特別支援の計画等を作成する。 ※6 保護者向け啓発／研修 ホームページや保護者会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含む様々な情報を収集する。
10月		(体育大会)	個人面談・個人状況把握	※7 情報教育講演会 昨今のソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について生徒向けに講演を実施し、情報セキュリティについての注意を喚起する。
11月	保護者向け ※6 いじめの実態把握のため	※10		※8 全校一斉学習 情報教育講演会の感想を書くとともに、ネットいじめ等を含み、正しい情報機器の使い方を話し合う。
12月		人権教育研修 ※9 (校外学習)	三者面談・個人状況把握	※9 人権教育研修／情報モラル研修 人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。
1月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有 職員		生活実態アンケート 個人面談・個人状況把握	※10 学級・学年づくり／人間関係づくり 1学期、2学期を通して、クラスや学年の人間関係づくりについてLHR等で学習するとともに、ふるさと貢献活動等で体験する。
2月	いじめの実態把握のため	情報モラル研修 ※9		※11 家庭訪問 全学年で、担任や学年グループ、部活動顧問が、夏季休業中までに、一度は家庭訪問を行う。
3月	いじめ問題対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正 いじめ実態アンケート	次年度に向けクラスづくり (校内球技大会)		